

# 派遣報告書

平成25年3月26日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員

伊藤正三



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1	派遣期間	平成25年2月18日(月)から平成25年2月20日(水)まで
2	派遣先	①香川県三豊市(有)協同回収 ②高知県 梶原町
3	視察(調査)議員名	伊藤正三
4	面会者	別紙-1
5	派遣目的	①資源リサイクルの取り組み ②再生可能エネルギーへの活用
6	視察の経過及び感想	別紙-2
7	添付書類	(有)協同回収パンフレット /
	(1)	
	(2)	梶原町パンフレット /

要した経費: / 人合計 53,980 円

## 視察の経過および感想

### (有)協同回収

一般家庭から回収したデジタル家電のリサイクルの普及を図り、地元地域でリサイクル処理し、そのリサイクル加工処理を通じて障害者雇用を促進する。リサイクル窓口が全国に普及することにより、「資源価値」「商品価値」が生まれ両方の買取りリサイクルが可能となる。

### 梶原町

町の電力を100%再生可能エネルギーで賄う環境型社会を目指し、風力発電、太陽光発電、小水力発電、地熱利用によるヒートポンプ温水プール等様々な事業に取り組んでいる。

以下の都市鉱山の重要性を確認できた。

- 1、 使用済みや廃棄品を再資源原料として有価物に変える。
- 2、 低コストで簡易的であること。
- 3、 事業性があり、継続的な運営が指せる。
- 4、 リサイクルによる社会貢献だけでなく、障害者や高齢者雇用の創出などに貢献できる。
- 5、 環境に配慮したリサイクルであること。

再生可能エネルギーは多様の・複合的な取り組みが重要であることと、その為の国の補助制度を最大限活用すること重要である。

関金町は自然環境が梶原町に類似しており、再生可能エネルギーでの未来型循環社会を目指したモデル地域に成り得ると感じた。